

カリキュラム・
マネジメントの
手引き



資料1-2
山口県教育委員会
(繁吉委員)
発表資料

社会に開かれた教育課程の実現に向けて

～学校・地域連携カリキュラムを生かすには～



① グランド・デザイン



【上宇部中学校区の子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守ろう～上宇部中学校区小中一貫教育グランドデザイン～】

夢たまごネット

《めざす子どもの姿》

○宇部市の教育理念○
夢・絆・志 ふるさとを愛し、未来を拓く人づくり

ココがポイント! 1
中学校区等の教育目標を示しましょう!



☆上宇部中学校区 -上宇部小学校・琴芝小学校・上宇部中学校- めざす子どもの姿☆
地域に愛着をもち、地域のために行動する子ども～明るく 元気に さわやかに～

☆小中一貫学校教育目標☆

ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創る子どもの育成

《なにができるようになるか》

2年	3年	4年	5年	6年
地域行事を手伝う	地域行事を企画する	地域をつくる	地域をつくる	地域をつくる
子どもと一緒に地域行事を手伝う	子どもに地域行事を任せてみる	みんなが住みよい環境をつくる	みんなが住みよい環境をつくる	みんなが住みよい環境をつくる
掃除の仕方を知る	友達と協力して掃除をする	率先して掃除をする	率先して掃除をする	率先して掃除をする
子どもと一緒に掃除をする【家庭】	子どもと地域の清掃活動を手伝う	子どもの清掃活動を見守る	子どもの清掃活動を見守る	子どもの清掃活動を見守る
元気よくあいさつをする	自分から進んであいさつする	時と場に応じたあいさつをする	時と場に応じたあいさつをする	時と場に応じたあいさつをする

ココがポイント! 2

家庭、地域、そして子ども等、誰が...
示しましょう。

育成すべき資質・能力や、中学校区でめざす子ども像等について熟議を通じて共有

学校の基本方針となるグランドデザインとして反映

ココがポイント! 3
中学校区等の重点取組事項が何かわかるようにしましょう。



ココがポイント! 4

学校運営協議会等...
して共有しましょう。



▲熟議の様子

② 9年間の単元配列表



「9年間の単元配列表」は子どもたちの学びの羅針盤

学校・地域連携カリキュラム

設計図

総合的な学習の時間や特別活動として実施してきた教育活動を、グランドデザインに基づき、身に付けさせたい資質・能力や教科横断的な視点から見つめ直し、再整理する

ココがポイント！身に付けさせたい資質・能力を示しましょう。

令和3年度 東中校区 学校・地域連携カリキュラム

小中一貫教育目標：ふるさとを愛し、ふるさとの人々からも愛される子どもたちの育成
 <仲間をつくる>より良い集団づくりに積極的にいかかる子 <未来をつくる>夢や希望の実現に向けて自ら歩み続けよう

持続可能なカリキュラムとして運用

小瀬っ子フェスティバル（小瀬）、読み聞かせ（東）

地域一斉あい

▼これまでの取組を見直し、再構成する熟議

世界のことに目も向けよう
 IEX-791-スクールとのつながりを軸に4校

<p>自己理解・自己管理能力 *自己理解 *主体的選択 *自立・挑戦</p>	<p>活動</p> <p>小瀬っ子フェスティバル（小瀬）、読み聞かせ（東）</p>	<p>活動</p> <p>地域の会と昔</p>
---	---	-------------------------



全公立学校がコミュニティ・スクールに
→ 本県の地域連携教育も新たなステージへ

コミュニティ・スクールの仕組みを生かして



熟議の活性化

→ 連携・協働に向けた「場」の充実

カリキュラムの可視化と具体化

→ 連携・協働に向けた「ツール」の充実



全公立学校がコミュニティ・スクールに
→ 本県の地域連携教育も新たなステージへ

カリキュラムの可視化と具体化



学校・地域連携カリキュラム

期待される
効果

カリキュラムという具体物に基づくPDCAサイクルの構築につながる
地域・家庭等、関係者の理解や参画を得やすい
児童生徒の意思が反映される機会が増え、主体的な学びにつながる



持続可能な地域連携の仕組み



取組事例 山陽小野田市立埴生小中学校



KRY山口放送 制作「はつらつ山口っ子」R3.6.20放送分より

▶▶ 今後の展望

- ◆ 振り返りと改善を実施し、「学校・地域連携カリキュラム」の継続的なブラッシュアップを図ることにより、持続的な地域連携へとつなげる。
- ◆ 小・中学校の総合的な学習の時間の学びを、高校における総合的な探究の時間の学びへとつなぐため、カリキュラム・マネジメントによる校種間連携の充実を図る。
- ◆ 各地域で展開されているカリキュラム・マネジメントの実際や児童生徒が参加する熟議の取組を好事例として広く共有し、全県的な推進へとつなげる。